

9/5~7

修学旅行 ~2日目~

2日目、最初の見学地は東大寺です。時代は奈良時代、聖武天皇が世の中の乱れを仏教の力で沈めようとして建てたということ、大仏の大きさが15mあるということは学習済みでした。そして、東大寺や大仏を自分の目で見た子ども達は・・・「うわっ」「やばっ」実際の大仏の迫力に、期待を超える反応をしてくれました。その後、大仏の鼻の穴と同じ大きさの穴をくぐりました。大仏の大きさを感じながら、全員が無事にくぐりました。



東大寺の周辺には、鹿がたくさんいました。その鹿に「鹿せんべい」をあげました。中には角が生えた大きな鹿もいて、子ども達はドキドキしながらあげていました。



次は法隆寺を見学しました。時代は飛鳥時代。聖徳太子が建てた寺として有名です。運転手さんがとても詳しい方で、五重塔には様々な生き物の彫刻が彫られていること、今から約1400年以上前にすでにヨーロッパの建築技術を取り入れたエンタシスの柱があることなど、知らなかったことを教えていただきました。

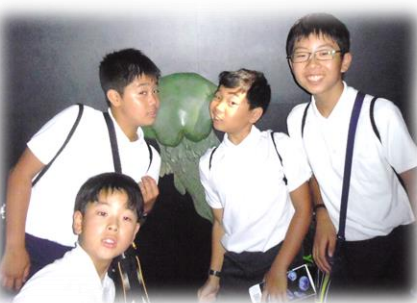
2日目最後の見学地、海遊館。日本の周りの海だけでなく世界中の海の生き物が見られること、そして最後の買い物場所でもあることで、みんな楽しみにしていました。いきなり迎えてくれたのは、トンネル状の水槽でした。頭上を泳いでいく魚たち、口を開けて見上げる子どもたち、かわいらしい光景が見られました。でも一番目立ったのは、ジンベエザメでした。大きな水槽の中を悠々と泳ぐ姿を、子ども達は見つめていました。



これは写真です



これは本物です



この日の見学はこれで終わり・・・だったのですが、時間も体力も余りあるということで、添乗員さんに道頓堀を案内していただきました。テレビで見るような場所を歩き、子ども達はきょろきょろが止まりませんでした。人の多さ、音の大きさ、ネオンの明るさ、全てに驚き、感動しながら歩きました。

